

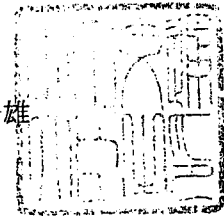


認 定 書

国住指第 2622 号
平成 18 年 2 月 16 日

積水化学工業株式会社
代表取締役社長 大久保 尚武 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ〔防火区画貫通部 1 時間遮炎性能〕の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PS060FL-0300

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

排水管・鋳鉄製継手／アルミニウム・ガラスクロステープ張ロックウールシート・
ロックウールフェルト／セメントモルタル充填／床耐火構造／貫通部分（中空床
を除く）

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添のとおり

（注意） この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

排水管・鋳鉄製継手／アルミニウム・ガラスクロステープ張ロックウールシート・ロックウールフェルト／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項 目		申 請 仕 様
開 口 部	形状	円 形：φ312mm以下
	面積	0.0765㎡以下
占 積 率 (開口面積に対するシート付管の断面積の割合)		53.3%以下(φ312mm～φ260mm) 76.8%以下(φ260mm以下)
貫通する床の構造等		鉄筋コンクリート 厚さ150mm以上（中空床を除く）

3. 申請仕様の構成材料：

申請仕様の構成材料を表2及び管の構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の構成材料

項 目		申 請 仕 様	
アルミニウム・ガラスクロステープ 張ロックウールシート・ロックウールフェルト (以下、防振シートという)	材料	①、②及び③（3層） ①内層：ポリオレフィン系不織布付ロックウールフェルト ②中間層：ロックウールシート ③外層：アルミニウム・ガラスクロステープ	
	密度	①内層：0.25 g/cm ³ ②中間層：0.8 g/cm ³	
	寸法	幅200mm以上、総厚さ 12.9±1.5mm ①内層厚さ：10.6±0.6mm ②中間層厚さ：2.1±0.5mm ③外層厚さ：0.2mm以上	
アルミニウム・ガラス クロステープ	テープ	材料	アルミニウム・ガラスクロステープ
		厚さ	0.2mm以上
	接着剤	材料	酢酸ビニル樹脂系
		塗布量	60±20 g/m ²
セメントモルタル	組成	普通ポルトランドセメント	25
	(質量%)	砂	75
	使用量	隙間を密に充てん	

表3 申請仕様の管の構成材料

項目		申請仕様		
鑄鉄製継手管	材料	本体：鑄鉄（JIS G 5501） 表面処理：エポキシ樹脂粉体塗装（焼付塗装） ゴムパッキン：①及び② ①EPDM、②NBR		
	種類	Aタイプ（差しロタイプ又は受けロタイプ）又はBタイプ（代表例）		
	形状	図2参照		
	外径	φ202mm以下（最大外径）		
	内径	φ190mm以下（最大内径）		
	厚さ	約4.5mm～6mm		
	留付材	鋼製ボルト（フランジ固定用）		
排水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管	種類	①又は② ①硬質塩化ビニルライニング鋼管（日本水道鋼管協会規格WS042） ②ラセン状リップ付硬質塩化ビニルライニング鋼管	
		材料	種類：①及び②（共通） 外層：配管用炭素鋼鋼管（JIS G 3452の準拠品） 内管：硬質塩化ビニル管（JIS K 6741又はJIS K 6776の準拠品）	
		外径	種類：①又は② ①φ139.8mm以下 ②φ114.3mm以下	
		厚さ	種類：①及び②（共通） 外層：2.8mm以下 内管：2.0mm以下	
		排水用鑄鉄管	材料	排水用鑄鉄管（JIS G 5525）
	二層管	外管	外径	φ140mm以下
			厚さ	9.0mm以下
			材料	繊維混入セメント被覆硬質塩化ビニル管
			材料	繊維混入セメント板（平成12年建設省告示第1400号）
		内管	外径	φ161mm以下
			厚さ	9.0mm以下
			材料	①又は② ①硬質塩化ビニル管（JIS K 6741） （記号：VP及びVU） ②水道用硬質塩化ビニル管（JIS K 6742） （記号：VP）
	外径	φ140mm以下		
	厚さ	7.0mm以下		

4. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1及び図2に示す。

5. 施工方法

施工図を図3及び図4に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 事前準備

開口部の設置

継手が貫通する位置に、予め開口部を設置する(開口径 ϕ 312mm以下)。

(2) 区画貫通処置

①防振シートの巻き付け

防振シートを所定の長さに予め裁断する。防振シートの上端が、継手が設置される開口部の上面にほぼ一致するように、継手に巻付ける。

防振シート巻付けの初端と終端は隙間なく巻付け、アルミニウム・ガラスクロステープにて張り合わせる。(オーバーラップ可)

②アルミニウム・ガラスクロステープによる継手への固定

防振シートの上端部および下端部にアルミニウム・ガラスクロステープを巻付けて鋳鉄製継手に固定する。

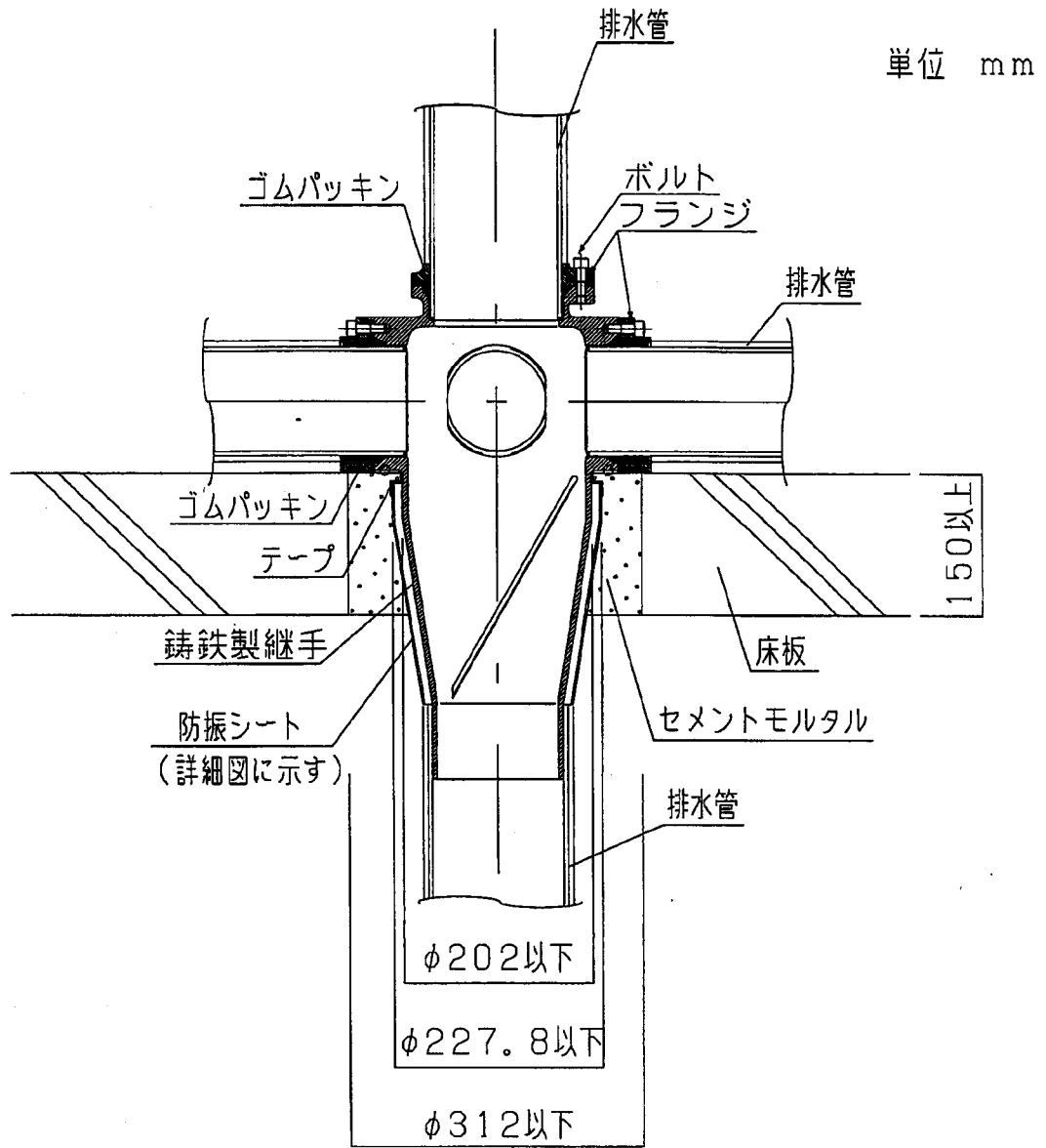
③管と継手の接続

継手の上下接続部に排水立て管を接続する。

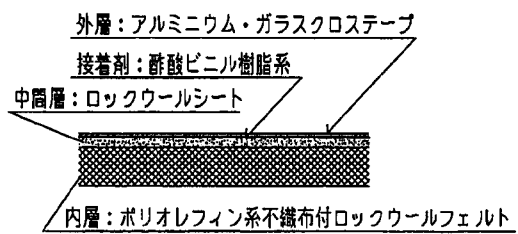
継手の横枝管接続部に排水横枝管を接続する。

④開口部の埋め戻し

継手を所定の位置に設置し、開口部をセメントモルタルで埋め戻す。

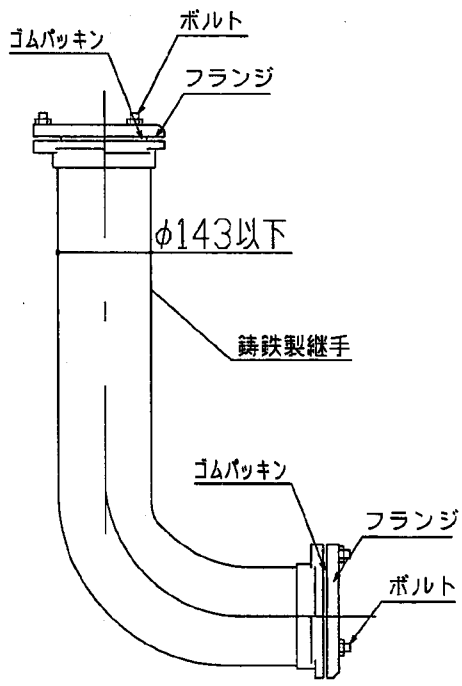
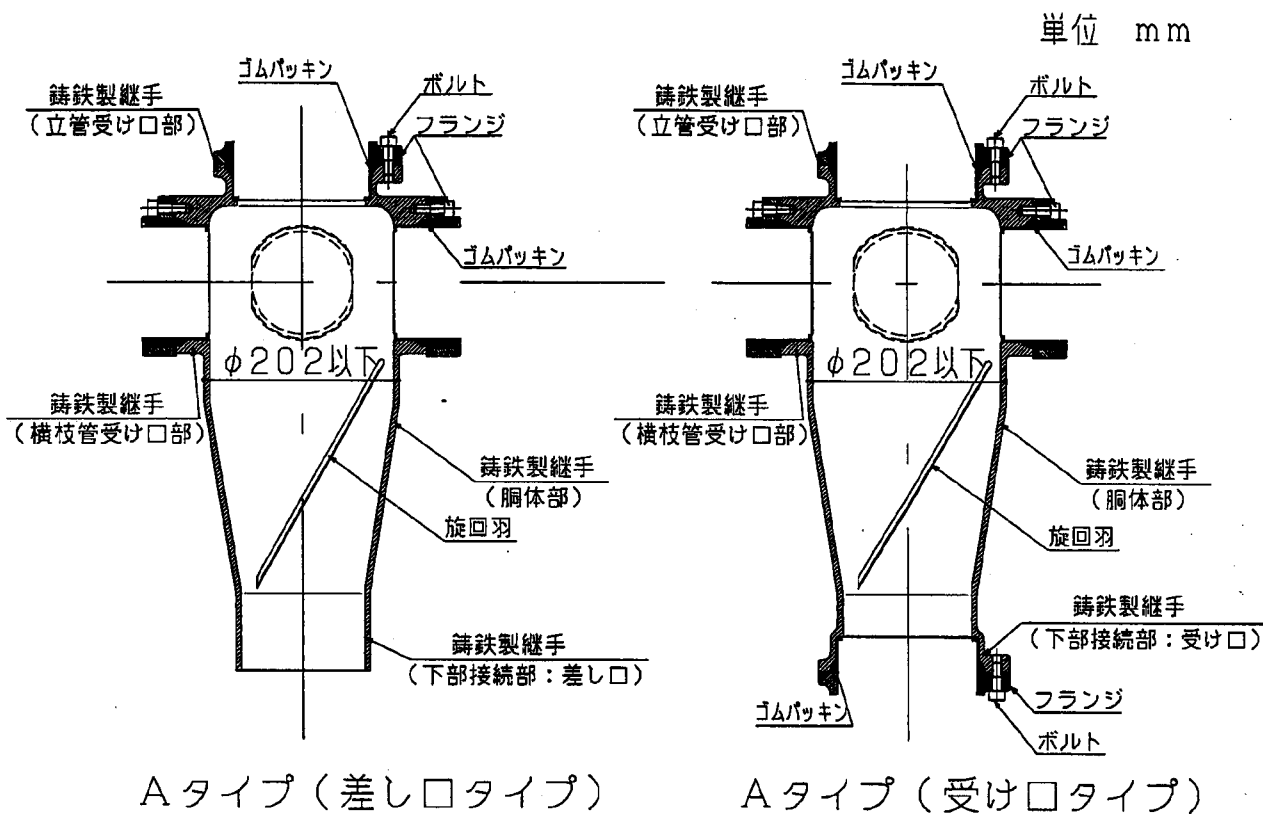


断面図



防振シートの詳細図

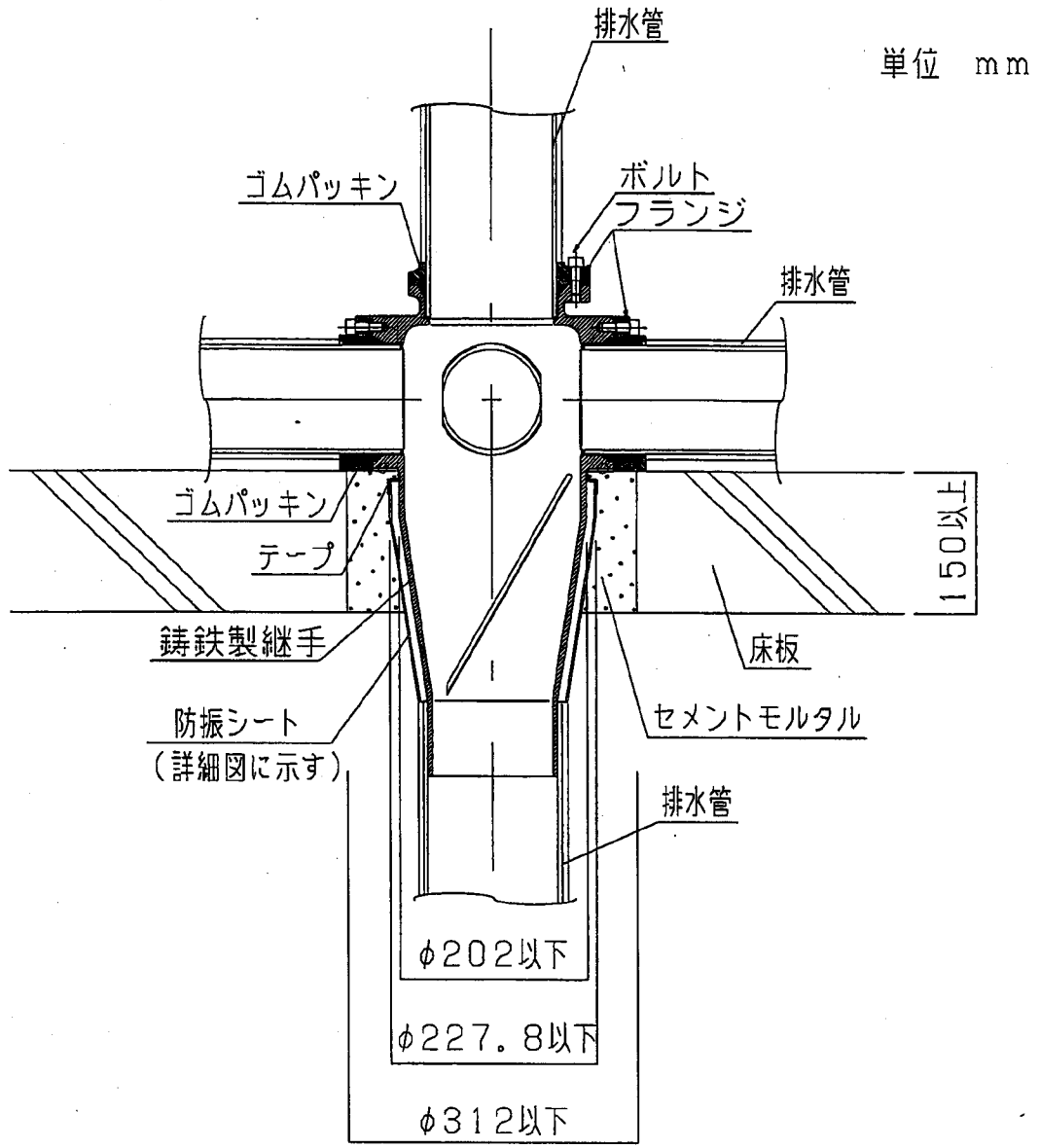
図1 構造説明図



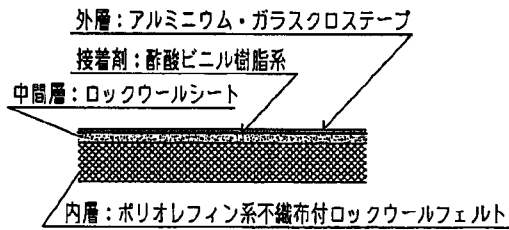
Bタイプ

注) 図中に示す铸铁製継手の形状は代表例である。

図2 構造説明図



断面図



防振シートの詳細図

図3 施工図

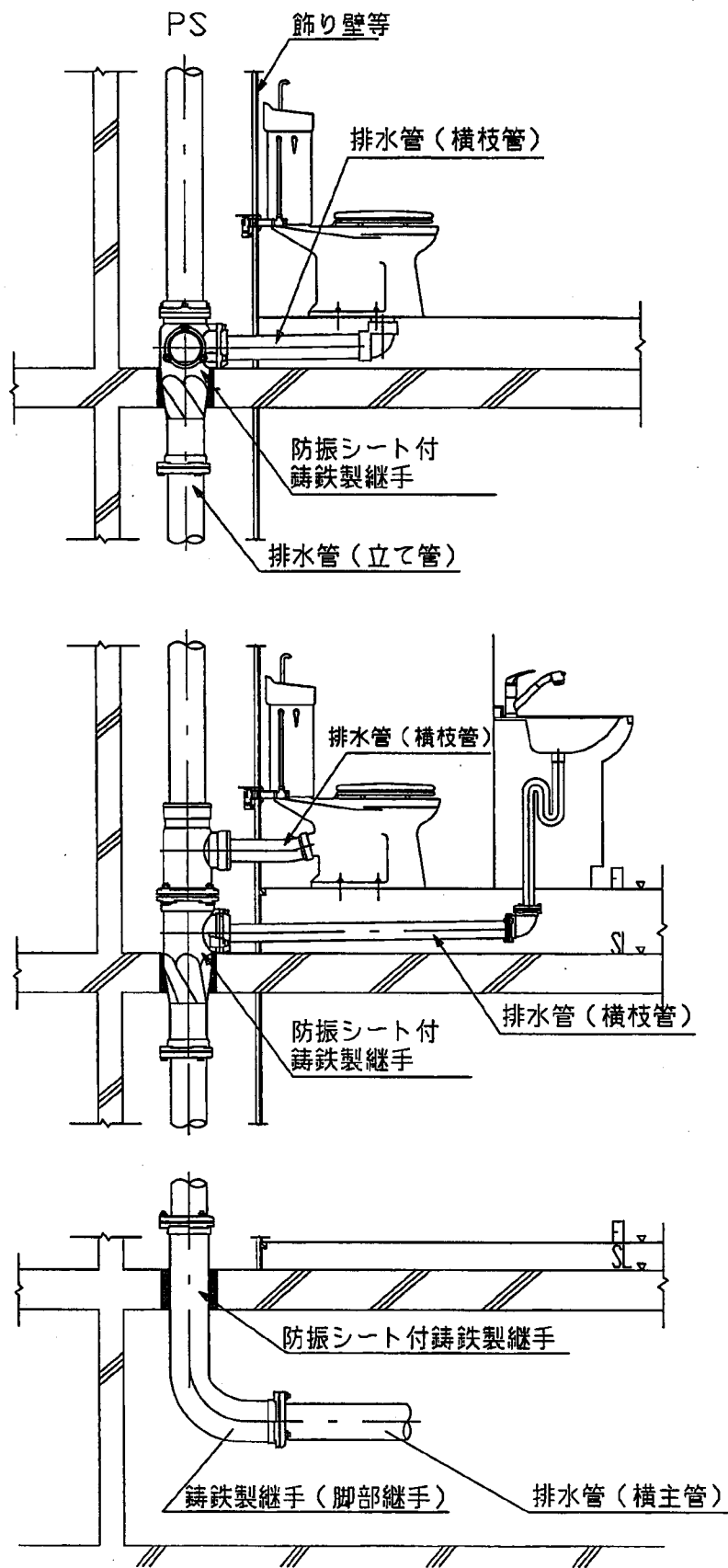


図4 施工図(床貫通部標準施工図)